

1. (留数解析：三角関数の定積分) 三角関数で記述される関数  $F(\cos \theta, \sin \theta)$  の以下のような定積分を留数を使った方法で求めてみよう.

$$I = \int_0^{2\pi} F(\cos \theta, \sin \theta) d\theta$$

$z = e^{i\theta}$  と変数変換する.

$$\cos \theta = \frac{z + z^{-1}}{2}, \quad \sin \theta = \frac{z - z^{-1}}{2i}, \quad d\theta = -iz^{-1} dz$$

なので

$$I = \oint_C G(z) dz = 2\pi i \times (G \text{ の } C \text{ 内の留数の和})$$

となる. ここで積分路  $C$  は複素平面上の単位円 ( $|z| = 1$ ).  $G(z)$  は  $F(z)$  を用いて以下のように入れられる.

$$G(z) = -iz^{-1} F\left(\frac{z + z^{-1}}{2}, \frac{z - z^{-1}}{2i}\right)$$

以下の定積分を留数を用いた方法で計算せよ.

$$(1) \int_0^{2\pi} \frac{\cos 2\theta}{a^2 + b^2 - 2ab \cos \theta} d\theta \quad (0 \leq a \leq b) \quad (2) \int_0^{2\pi} \frac{1}{1 + a \cos \theta} d\theta \quad (0 \leq a \leq 1)$$

$$(3) \int_0^{2\pi} \frac{\sin^2 \theta}{a + b \cos \theta} d\theta \quad (0 \leq b \leq a) \quad (4) \int_0^\pi \frac{\cos k\theta}{1 - 2a \cos \theta + a^2} d\theta \quad (|a| \neq 0, k : \text{自然数})$$

2. (留数解析：実軸上の定積分)  $f(z)$  が次の性質を持つとする.

- $f(z)$  は複素平面の上半面 ( $\text{Im}(z) > 0$ ) で有限個の極を除いて正則. ただし実軸上には極はない.
- $\lim_{|z| \rightarrow \infty} z f(z) = 0$

このとき以下の問いに答えよ.

(1) 以下の公式が成り立つことを示せ.

$$\int_{-\infty}^{\infty} f(x) dx = 2\pi i \times (\text{上半面における留数の和})$$

(2) 次の定積分を求めよ.  $a \in \mathbf{R}$  とする.

$$(i) \int_{-\infty}^{\infty} \frac{1}{x^2 + 1} dx \quad (ii) \int_{-\infty}^{\infty} \frac{1}{x^4 + a^4} dx \quad (iii) \int_{-\infty}^{\infty} \frac{x^2}{x^4 + a^4} dx$$

3. (留数解析：実軸上の積分 2)  $f(z)$  が次の性質を持つとする .

- $f(z)$  は複素平面の上半面 ( $\text{Im}(z) \geq 0$ ) で有限個の極を除いて正則 . ただし実軸上には極はない .
- $\lim_{|z| \rightarrow \infty} |f(z)| = 0$

このとき以下の問いに答えよ .

(1) 図のように原点を中心とする半径  $R$  の半円を  $\Gamma$  とする ( $R$  : 始点 ,  $-R$  : 終点) .  $m > 0$  のとき

$$\lim_{R \rightarrow \infty} \int_{\Gamma} e^{imz} f(z) dz = 0$$

を示せ (これをジョルダン (Jordan) の補助定理という) .

(2) 次の定積分を求めよ . ただし  $a > 0, m > 0$  とする .

$$(i) \int_{-\infty}^{\infty} \frac{\cos mx}{x^2 + a^2} dx \qquad (ii) \int_{-\infty}^{\infty} \frac{x \sin mx}{x^2 + a^2} dx$$

4. (留数解析：積分の主値) 関数  $f(z)$  が実軸上 ( $z = z_0$ ) に極を 1 つ持つ場合にどのように定積分を行うか考えよう .  $f(z)$  は  $z = z_0$  以外の点では有限個の極を除いて正則とする . このとき積分の主値  $P \int_{-R}^R f(x) dx$  を以下のように定義する .

$$P \int_{-R}^R f(x) dx \equiv \int_{-R}^{z_0 - \epsilon} f(x) dx + \int_{z_0 + \epsilon}^R f(x) dx \quad (\epsilon \rightarrow 0)$$

ここで  $R, \epsilon > 0$  である . 図のような積分路を考えよう .  $\Gamma$  を  $R$  を始点 ,  $-R$  を終点とする半球弧 ,  $\gamma$  を極  $z = z_0$  を中心とする半径  $\epsilon$  の半球弧 (始点  $z_0 - \epsilon$  , 終点  $z_0 + \epsilon$ ) とする . このとき

(1)  $\int_{\Gamma} f(z)dz + P \int_{-R}^R f(x)dx + \int_{\gamma} f(z)dz = 2\pi i \times (\text{実軸, } \Gamma, \gamma \text{ の囲む領域内の留数の和})$  を示せ .

(2)  $\int_{\gamma} f(z)dz = -iA_{-1}(z_0)\pi$  を示せ . ここで  $A_{-1}(z_0)$  は  $z = z_0$  の留数である .

(3)  $\lim_{R \rightarrow \infty} \int_{\Gamma} f(z)dz = 0$  ならば

$$P \int_{-R}^R f(x)dx = \pi i A_{-1}(z_0)\pi + 2\pi i \times (\text{Im } z > 0 \text{ における留数の和})$$

であることを示せ .

(4) 次の積分を求めよ .

$$(i) P \int_{-\infty}^{\infty} \frac{\cos mx}{x-a} dx \quad (a \in \mathbf{R}, m > 0) \quad (ii) P \int_{-\infty}^{\infty} \frac{e^{ix}}{x} dx \quad (iii) \int_0^{\infty} \frac{\sin x}{x} dx$$

5. (留数解析：級数和) 極を無限個持つ関数を十分大きな円周について積分することで，無限級数の値を得ることができる場合がある .

$$\oint_C \frac{\pi \cot \pi z}{(a+z)^2} dz$$

を考えることにより，

$$\sum_{n=-\infty}^{\infty} \frac{1}{(a+n)^2} = \frac{\pi^2}{\sin^2 \pi a}$$

を示せ . ここで  $a$  は非整数の実数 .  $C$  は原点を中心とする十分に大きな円周とする .